

2021年11月4日

各 位

株式会社 みなと銀行

ESG 投資における取組について ～船舶投資 5号ファンドへの出資について～

関西みらいフィナンシャルグループのみなと銀行（社長 武市 寿一）は、アンカー・シップ・パートナーズ株式会社（本社：東京都中央区 代表取締役 篠田 哲郎）が組成した船舶投資ファンド「アンカー・ディスカバリー合同会社」（以下、本ファンド）に対する出資契約を締結しましたので、お知らせいたします。

ESG 投資の視点を取り入れた本ファンドは、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱するポジティブインパクト金融原則※に基づき、環境負荷の低い液化天然ガス（LNG）を主燃料とする LNG 運搬船などを主力な投資ターゲットとしており、脱炭素社会の実現に貢献する取り組みであると考えております。

また、本ファンドは三井住友信託銀行株式会社からインパクト投資の評価認定を受け、さらに格付機関である株式会社日本格付研究所（JCR）から第三者意見を取得し、今後も定期的なモニタリングを受ける予定です。

当社は今後も事業活動を通じて脱炭素社会の実現に貢献し、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

※ポジティブインパクト金融原則とは、SDGsの達成に向け、金融機関が経済・社会・環境に対して積極的な投融資を行うための原則

SDGsとは? Sustainable Development Goals

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

13 気候変動に具体的な対策を

以 上